健康友の会みみはら2025年3月会員数

会員数	94,367	（前月比）＋	46
手配り	27,437	（前月比）＋	11
郵　送	9,248	（前月比）＋	1

会員世帯数　41,323（3/31現在）［前月比 50増］
協同基金到達額　2,378,571,000円（3/31現在）［前月比 19,552,000減］
協同基金出資者数　23,125名（3/31現在）

とも friend

2025 5 No.500

発行
健康友の会 みみはら
民医連
本部事務局組織部
機関紙編集委員会
〒590-0821
堺市堺区大仙西町6丁184-2
Tel.072-244-8061
Fax.072-244-7860
1部 30円

「健康づくり」は「人づくり」を合言葉に取り組みをすすめよう！

写真で振り返る 2024年度

昨年第37回総代会で、「健康づくり」は「人づくり」を合言葉に取り組みをすすめることを確認しました。

地域まるごと健康づくり

- 健康チェック
- 「ウォーキングチャレンジ」
- 出前健康講座

保健学校

友の会の輪をひろげる取り組み

- 仲間ふやし 932人　担い手 1,005人
- 職員と会員訪問
- 協同基金・いつでも元気の普及

堺のんびりクルーズ（安井支部）

ブロック・支部・班づくり

- モーニングカフェ
- 健康麻雀
- 写真サークル
- スマホ班会

子ども習字教室

健康友の会みみはら40周年記念のつどい

1300名の参加で大成功

社保・平和・まちづくり

- 国民平和大行進
- 原水爆禁止世界大会への参加

国民平和大行進

ふれあい支えあいのまちづくり

- 無料低額診療
- メリアガーデン
- 子ども食堂・塾

ふれあい昼食会

「とも」の配布と内容充実

- 配達協力者 994人
  手配り率 76.5%
- 読者参加企画
  （お便り、戦争体験、レシピ）

2025年度の方針は６月号に掲載予定です。

聴診器

医師の働き方「改革」は陸送、建設業とともに昨年４月に始まった。準備期間中病院では長時間労働の最大要因である当直や待遇の見直しなどの調整に追われた。一方政府、厚労省は国民の医療費負担を増やし、医師と病床を減らす作業をしていた▼昨年６月と11月の厚労省５６５３施設調査で２６６（４・７％）が診療体制を縮小、38（０・７％）は「地域医療に影響が出る」と答えた。％は小さくとも当該地域の患者への影響は１００％だ。医師ユニオンの調べでは医師が働く時間は１年前に比べ変わらないが78％、診療に影響するし労働時間も減っていないのだ。研修医の経験も不足すると指導医は心配する▼厚労省は医師の残業上限を過労死ラインぎりぎりの年９６０時間、一部では１８６０時間とした。過労死に詳しい川人弁護士によれば２００５年２人の医師の過労死事件まで私病扱いだったが、２０１０年からの７年間で26名が労災とされた。過労死をなくすための長時間労働是正のはずが残業は減らないのである。医師数削減への固執が矛盾を生む。高額療養費引き上げストップとともに医師増員のためには夏の参院選挙で衆院同様与党を過半数割れにすることだ。（和）